

## 平成 24 年度 第 7 回理事会抄録

日時：平成 24 年 11 月 17 日（土）13：10～16：37

場所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、清水（副会長）、荻原（事務局長）、小林、佐藤、谷、土井、陣内、山本（常務理事）、宇田、大丸、北山、坂井、高島、東、藤井、三澤、森（理事）、古川、長尾、岩崎（監事）

傍聴：小賀野（企画調整委員長）、伊藤（選挙管理委員長）、富岡（WFOT 代表）、岡本（財務担当）、岩佐（士会連絡協議会長）

### 審議事項

1. 第二次作業療法 5 ヶ年戦略について（荻原事務局長・小賀野企画調整委員長）前月に引き続き審議を重ねた。ルーティン業務と判断されるものは 5 ヶ年戦略からは削除する。

計画番号 66 番まで承認（67 番以降は継続審議）

2. 選挙関連規約の整備について（伊藤選挙管理委員長）

1) 代議員選出規程（案）平成 27 年の次期代議員選出に向け選出規程を作成。各士会への案内を早期に行う。立候補締切から選挙公報等送付までの期間を 6 週間とした。

2) 選挙の管理・運営に関する手引（案）年度内に行う役員候補者選挙に関連した選挙管理・運営に手引を作成。社員総会における役員選任投票の具体的な方法も想定した。

審議の結果、文言の一部を修正した。 承認

3. Asian Journal of Occupational Therapy の査読管理業務の外部委託について（小林学術部長）現在、部員が査読管理業務を行っているが、海外との連絡業務、投稿者、査読者とのやりとりを遅滞なく遂行するには限界があるため、管理業務を（株）アイパックに業務委託する。 承認

4. 「作業療法士教育の最低基準」改訂第 3 版（修正案）について（陣内教育部長）規則や法人の名称等の正式な名称への修正と、新たに臨床実習施設の認定を追加。WFOT 最低基準との関連について意見が出され、意見を踏まえて検討を加え、次回理事会で再提示する。

継続審議

5. 平成 25 年度作業療法推進活動パイロット事業の助成課題について（森士会組織担当理事）申請された事業について選考の結果、東京都と沖縄県の事業を助成課題とする。京都

府からの申請事業については、今後、協会事業として組み入れる検討をする。 承認

**6. リハビリテーション医療関連 5 団体協議会の今後のあり方について**（山本制度対策部長）11月13日開催の会議で、リハビリテーショングランドデザインの政策提案、2025年問題に対するリハのあり方の提案等を行っていくことが決定した。リハ医学会よりあった新たに数団体を加える提案に対し、当協会としては現状の5団体を維持し、必要に応じワークショップ的に加わっていただくことを対案として次回会議（12/11）で提示する。

承認

**7. 全国研修会（岩手）収録時の医療福祉 e チャンネル関係者の旅費等の負担について**（中村会長）今年度は学会・研修会等の収録の予定はなかったが、e チャンネルがコンテンツ不足から収録したいとの申し出があり、協会の費用負担なしで収録することとなっていたが、岩手の全研の収録に係る旅費等を負担してほしいとの要請があった。検討した結果、今回は費用負担せず、来年度以降の対応については別途検討することとする。 承認

**8. 会員の入退会について**（荻原事務局長） 会費未納による会員資格喪失後の再度入会希望者 16 名、未納会費は清算済み。 死亡退会 2 名。 承認

## 報告事項

**1. 事務局システムの災害対応インフラ整備の業者選定について**（荻原事務局）災害時のデータ保存と復旧に関わるインフラ整備の業者選定を検討してきた。数社の見積を比較検討した結果、株式会社電翔に依頼することとする。

**2. 来年度の会議のあり方について**（中村会長）寄せられた意見を三役会議で検討した。副部長制を強化して、横の連携を強めていく。

**3. 名誉会員候補者の推薦について**（中村会長）杉原素子氏、宮前珠子氏の両氏を名誉会員として推薦することについてご本人の了解が得られたので、先月理事会の承認どおり来年の社員総会に推薦する。

**4. 生活行為向上マネジメント推進プロジェクトの事業計画と予算化について**（土井プロジェクト担当理事）生活行為向上マネジメント推進を組織的に展開するための環境整備を行い、具体的な戦略を組み立て、協会内外に周知する。平成 26 年度末までの時限的なものとする。平成 24 年度内活動の予算は事務局内に位置づけ、25 年度は独自に申請する。

**5. 学会運営の手引（規約集）の改定および学会開催ブロックの選定について**（小林学術部長）学会手引の変更、改定に必要な資料を規約委員会に提出し、検討していただく。学

会開催ブロックについては連絡協議会と連携を取りながら進めていく。

6. 作業療法士養成教育に係る答申について（陣内教育部長）資料は各理事、監事へ送付済み。11月末までに意見をいただき、12月に最終答申として提出したい。

1) 「作業療法教育ガイドライン」(案)

2) 指定規則および指導要領(改正案)

7. 人材育成セミナーの追加開催について（佐藤国際部長）世界大会への演題登録数の増加を目的に、年度内に2箇所を追加開催する。新たな予算措置は必要ない。

8. WFOT 事務局報告 文書報告

9. 渉外活動報告

1) 浜通りリハビリステーションの開所について（中村会長）訪問リハビリテーション振興財団立の浜通りリハビリステーションが11月1日に開所した。

2) 訪問リハビリテーション振興財団の現況と来年度の関与について（中村会長）11月30日に臨時理事会、評議員会を開催し、来年度の活動について協議する。

3) 10 団体災害対策研修会への取り組みについて（中村会長）各都道府県に5職種（医師、看護師、OT、PT、ST）で、災害時のチームを結成するために、研修会を開催する。

4) リンパ浮腫診療に関わる四職種合同会議について（高島理事）認定機構ができ、4団体で、リンパ学会への要望をする流れをつくるために活動している。

5) 厚生労働省訪問について（山本制度対策部長）11月7日に保険局長と面談し、当協会単独要望書の説明を行った。

6) 厚生労働大臣および民主党への要請書提出について（中村会長）11月8日にリハビリテーション三協会協議会として厚生労働大臣と面会し、要望書を提出した。同内容の要望書を民主党にも提出した。

7) その他の渉外活動報告 文書報告

10. 「平成25年度定時社員総会議案書」の原稿作成について（荻原事務局長）社員総会議案書の原稿を平成25年1月4日までに提出していただきたい。

11. 今後の理事会スケジュール(荻原事務局長)平成25年度事業計画及び予算案は12月、1月理事会で審議し、2月理事会で決定。その他は確認の上、対応していただきたい。

12. その他 北山理事：WFOTの世界大会の演題募集を12月から開始する。応募数を見ながら、広報の強化を図っていく。山根副会長：世界大会の参加費については、参加区分等の詳細を検討中である。事前登録は平成25年1月から開始する予定。